

公孫樹 (いちょう) 9月号

～学べ 鍛えろ 夢を持って～

2学期始業式講話「わたしのいもうと」

わたしのいもうと 松谷みよ子

この子は、わたしのいもうと。むこうをむいたまま、ふりむいてくれないのです。いもうとのはなし、きいてください。
いまから七年まえ、わたしたちは、この町にひっこしてきました。
トラックにのせてもらって、ふざけたり、はしゃいだり、アイスクャンディをなめたりしながら、いもうとは小学校四年生でした。
けれど、てんこうした学校で、あのおそろしいいじめがはじまりました。
ことばがおかしいとわらわれ、とびばこができないといじめられ、くらすのはじさらしとののしられ。くさい、ぶたといわれ。
ちっともきたない子じゃないのに
いもうとがきゅうしょくをくばると、うけとってくれないというのです・・・。
とうとうだれひとり、くちをきいてくれなくなりました。
ひと月たち、ふた月たち、えんそくにいったときも、いもうとはひとりぼっちでした。
やがていもうとは、学校へいかなくなりました。
ごはんもたべず、口もきかず、いもうとはだまってどこかをみつめ、おいしゃさんの手もふりはらうのです。
でも、そのとき、いもうとのからだにつねられたあざがたくさんあるのがわかったのです。

中略

かあさんはなきながら、となりのへやで、つるをおります。
つるをおっていると、あの子のことがわかるようなきがするの・・・。
ああ、わたしの家はつるの家。わたしはのはらがあるきます。
くさはらにすわると、いつのまにかわたしもつるをおっているのです。
ある日、いもうとはひっそりとしました。
つるをてのひらにすくって、花といっしょにいれました。
いもうとのはなしはこれだけです。
わたしを、いじめたひとたちは、もう わたしをわすれてしまった
でしょうね。
あそびたかったのに、
べんきょうしたかったのに。



*松谷みよ子事務所の著作物使用許可を得て、「わたしのいもうと」を掲載いたしました。
ただし、ホームページ掲載のものは「中略」としました。

2学期始業式で松谷みよ子氏の「わたしのいもうと」を朗読しました。この話は、いじめにより自殺したある少女の姉から松谷さんへ届いた手紙をもとに書き上げたものだそうです。

この夏、岩手県矢巾(やはば)町の中学生がいじめを苦しんで電車に飛び込み自ら命を絶ちました。いじめは、ときには相手を死にまで追いやる恐ろしいものです。もし、皆さんの中で心が折れそうになったり、どうしてもならない不安を抱えている人がいたら、どうか誰かに助けを求めてください。先生でも、ご両親でも、友達でも誰でもいいです。声を上げてください。

決して自分の命を絶ってはいけません。いじめはあってはならないことです。そして万が一の時には、いじめに対して皆で立ち向かっていける学校を、皆でつくっていきましょう。

浮き城まつり～初出場で「大賞」を受賞しました！～

7月26日(日)第22回市民祭行田浮き城まつりが行われました。

行田中学校は総勢140名の「行中連」を組み、初めて「だんべ踊り」に参加しました。猛暑の中でしたが、踊りの中にジャンプを交えて、「皆でそろえて元気よく」45分間全力で踊りきりました。その結果、参加23団体中、初出場ながら見事に「だんべ踊り大賞」を受賞しました。沿道の人たちからも「行中がんばれ！」と、温かい声援を送っていただき、真夏の夜の祭典を大いに楽しむことができました。



P T A 親子除草

8月22日(土)夏休み恒例の親子除草を行いました。

8時20分から1時間半、「草との戦い」に挑みました。おかげさまで、草原だった校庭が見違えるようになりました。

保護者の皆様、P T A 厚生部の皆様、生徒の皆様、皆さん大変お疲れ様でした。

